

TV 報道検証【報道特集】 報告書

テレビ局：TBS	番組名：報道特集	放送日：2019年11月30日
出演者：金平茂紀、膳場貴子、日下部正樹		
検証テーマ：オープニング、国立競技場、【特集】桜を見る会～マルチ商法が利用？		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ロンドンでテロ事件</li> <li>・ オープニング</li> <li>・ 沖縄首里城火災から一ヶ月</li> <li>・ 広島市消防局職員が飲酒運転で現行犯逮捕</li> <li>・ 秋田県上小阿仁村で全国初の自動運転システム実用化</li> <li>・ 国立競技場</li> <li>・ ロンドンでプレゼントを買って難民支援のお店がオープン</li> <li>・ 東部復興道路が開通</li> <li>・ 金沢市野長町武家屋敷跡で薦掛けが始まる</li> <li>・ 皇居乾通りが一般公開</li> <li>・ 相鉄線が JR 塗装ご運転</li> <li>・ 木枯らし一号が吹かない可能性</li> <li>・ ドイツで力自慢が観覧車にチャレンジ</li> <li>・ 【特集】 人生会議～実際の現場は</li> <li>・ 【特集】 桜を見る会～マルチ商法が利用？</li> <li>・ スポーツ報道</li> </ul>		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ オープニング：結論→特に問題なし            番組のオープニングで金平キャスターが「ええ、桜を見る会の招待者名簿は残っていましたが、国立公文書館に永久保存という形です、ただしそれは今年のもではなく、1957年のものでした。当時の首相は岸信介氏、安倍首相の祖父です、首相の慕う岸氏も公文書は補完していました、ちなみに当時はシュレッダーは日本にはありませんでした。」とコメントしていた。このシーンに当てられた時間は24秒で放送法上は特に問題は見られなかった。</li> <li>・ 国立競技場：結論→特に問題なし            膳場キャスターの「来年の東京オリンピック・パラリンピックのメイン会場となる新しい国立競技場が今日、完成しました。整備費は1650億円に登り、その後の活用も課題となっています。新しい国立競技場は、今日正午に建設会社などから日本スポーツ振興センターに鍵や完成書類が引き渡され完成しました。周囲のひさしには全国47都道府県の木材が使われるなどデザインには日本の建築技法が取り入れられました。」というコメントを受けて、以下に朱記したVTRが取り上げられていた。            市民A「いや、やはりすごい素敵ですね、木でできているっていうのが、やっぱりいいな、って温かみも感じられて、すごく楽しみです。」</li> </ul>		

市民 B 「なんかすごく明るくって親しみやすいというか」

市民 C 「めっちゃ大きい」

ナレ「当初採用されたザハ・ハディオのデザインが巨額の工費を理由に白紙撤回されるなど混乱もありましたが、その後、建築家の隈研吾さんのデザインが採用され 2016 年 12 月に着工、およそ 3 年の工期をかけ整備費は国内最高の 1569 億円となりました。年間の維持管理費は年 24 億円と試算されていて、日本スポーツ振興センターは来年の大会後に運営権を民間に売却する方針です。今日から正式に名称も国立競技場になり、来月 21 日には人気グループ嵐などが出演するオープニングイベントが行われる他、来年 1 月にはサッカー天皇杯の決勝も開催されます。」

このトピックに当てられた時間は 96 秒で、放送法上は特に問題は見られなかった。

・【特集】桜を見る会～マルチ商法が利用？：結論→特に問題なし

スタジオで膳場キャスターの「特集は、桜を見る会の招待状が、マルチ商法に利用された問題です。私たちは、その宣伝用のビラを見た被害者に直接取材をすることができました。」とのコメントに対し、金平キャスターが「えーなぜこのようなことができたのか、消費者を守る立場の大臣に、話を聞きました。」と応え、以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

"チラシ「桜を見る会のご招待状が届きました。」

ナレ「2015 年、安倍総理主催、桜を見る会の招待状という、このビラ。宛名の山口隆祥氏とは、」

"記者「山口会長だましてたんじゃないですか？」

ナレ「マルチ商法で巨額の資金を集め、被害の訴えが相次ぐ健康器具会社ジャパンライフの当時の会長だ。ジャパンライフは、数百万円する磁気バンドや、磁器ネックレスのオーナーになれば、レンタル収入で高い配当を得られると謳っていた。そのトップが、桜を見る会に招待されたとして、資金集めの宣伝に利用していたのだ。実際に、このビラを使って勧誘されたという女性が、報道特集の取材に応じた。」

ビラで勧誘された女性「孫がいるけれども、お年玉すら、あげることもできねえ、本当に本当に本当に包丁を持って差したくらいに憎たらしい。」

ナレ「ジャパンライフは、2014 年、2 度の行政指導を受けた。ビラによればその翌年に、桜を見る会に招待されたことになる。おとし、ジャパンライフは 2400 億円余りの負債を抱えて、経営破綻。今年 4 月、警視庁などは、特定商取引法違反の疑いで、山口市の自宅や関連会社、およそ 30 か所を、家宅捜索している。マルチ商法のトップが受け取ったとされる桜を見る会の招待状。被害者に与えた影響とは。」

ナレ「税金を使った総理主催の桜を見る会の問題」

"国民民主党 田村麻美参院議員「反社会勢力や安倍総理の名前の入った招待状を勧誘に使っていた」

「マルチ商法の会社の会長が招待されていたなど、誰が呼んだかの問題。」

ナレ「野党が追及したのは、菅官房長官と、反社会的勢力とみられる人物とのツーショット写真が、sns で公開されていたことだ。」

ナレ「今週火曜日、菅官房長官は・・・」

菅官房長官「出席は把握しておりませんでしたけれども、私が桜を見る会で写真を撮った中に、そうした方がいたというご指摘を受けたので、結果として入っていたのだろうと」

ナレ「結果として、入っていたのだろうと話していたが・・・翌日の会見では」

菅官房長官「反社会的勢力が桜を見る会に出席したと申し上げたものではありません。その方が反社会勢力であるということ、私は確認してませんから。」

ナレ「西村官房副長官は」

西村明宏官房副長官「反社会勢力の皆さまが出席されたかどうかにつきましては、個人に関する情報であるため、回答を差し控えさせていただいているというところでございます。」

ナレ「野党が最も問題視するのは、」

立憲民主党山本和嘉子衆院議員「ジャパンライフを招待することが、適切だと思うのか」

衛藤せい一消費者担当相「どっからどうして紛れ込んだのか、それは不思議ではないと思っております。」

ナレ「マルチ商法を展開した末、経営破綻したジャパンライフ。元会長への桜を見る会の招待状だというビラで勧誘していた。」

衛藤消費者担当相「それを宣伝に使ったということについて、非常に残念というか遺憾という形であります。」

ナレ「誰がジャパンライフの元会長を招待したのかと追及する野党。焦点は招待状の受付証に記された番号だ。最初の二けたが、60となっている。内閣府の資料では、この数字は招待区分を示し、60から63は、総理・長官等の推薦者と記されている。」

ナレ「元会長は安倍総理の推薦枠で招待されたのではないかと、野党側は、追及を強める。」

山井和則衆院議員「今年の場合は、60という区分は、安倍昭恵さんと、安倍総理に呼ばれたという人が、今年に行っている事例もあるわけなんですね。やっぱり山口会長も安倍総理が呼んだということに類推されるんじゃないですかね。」

内閣府担当者「招待者名簿につきましては、既に1年未満文書として廃棄をしておるものですから、そのどういった区分の方がどういったということにつきましては、今、現状、確かめるすべがないと。いうところでございます。」

ナレ「昨日、招待者名簿の電子データの復元について、問われた菅官房長官は、」

菅官房長官「詳細 承知しておりませんが、復元は、できないと。こういうふうに聞いていることを申し上げます。」

記者「技術的なことに関しては、一部はですね、そういったことは専門業者に発注すれば可能という指摘もあるんですけども、」

菅官房長官「事務方に問い合わせたところ、これは復元できないと。そういうところであります。」

ナレ「桜を見る会の招待状だと宣伝するビラを見たというジャパンライフの被害者から話を聞くことができた。」

膳場「これは、ご覧になった覚えはありますか？桜を見る会に招待されていますよ。とこれ2015年の時点ですけど」

被害者女性「2015年の時点は、たぶん私は見ていると思うんだけど。いやすごいことなんだなあって、私は思ったような記憶がある。」

膳場「どんな風に紹介されるんですか？だれかが紹介してくれ、読み上げたりするんですか？」

女性「スライドで。社員さんたちが、あの、読むんですよ。こうやって、会長はテーブルに座って、こうやっていて、社員も、その社員さんも、その位の高い人がこう、よむんだっけな。」

女性「こういうのに招待されているんですよ。みたいなことを」

ナレ「夫の健康に不安があったという女性。夫婦合わせて4200万円を出資した。勧誘された状況をこう話す。」

"女性「イベント会場の入り口では、社員さんたちがずらっと並んで、ようこそ、よく来てくれましたって言って、」

膳場「わざわざ？」

女性「わざわざ笑顔で、おばあさんの手触って、笑顔で、マッサージして」"

女性「社長がスライド見て、こういう状況で、ジャパンライフはこういうふう創業46年とかなんとか言って、

全国で何十店舗も、何十店舗目どこそこにできました。拍手とかいって、なんかすごいんだなあとかといっで。」

膳場「山口会長が来るときは、必ず政治家の名前も出して？」

"女性「自分はもう、いっぱい政治家みたいな口調でした。もういかにもツーカーの関係っていうか、親しいっていうような。私を知らない人はいないんだよというみたいな。」

女性「やっぱりジャパンライフって、やっぱり、あの、東京でも有名で、そういう大手の、あれだ間違いないんだなていうことを、確信して」 "

ナレ「しかし、経営破綻によって、出資金の大半は、返ってきていない。」

女性「必死になって、お金さえあれば、老後何とかなる。病気になっても、何とかなるってためたお金をむしり取っていったわけだから、もう本当にね、悔しくてならないです。」

ナレ「ジャパンライフは以前から、政治家の名前を悪用していたという。愛知県などの被害弁護団団長の、杉浦ひでき弁護士は、こう話す。」

ジャパンライフ被害対策中部弁護団 杉浦英樹団長「政権の中枢にいる政治家の人が、ジャパンライフと親しい関係にありますよと。ジャパンライフの商い、商法は立派なものですよという場面のところで、映像であったり、その他の媒体でもって、使われると、高齢者の方って、やっぱり、そういう政治家の方を信用しますので、そこで安心して契約をしてしまうと。ということになりますので、そういう使われ方をすると思います。」

杉浦弁護士「高齢者のそういう本当に、あの今後の生活を支える本当の宝金・命金を全部持っていかれたということ。そのひとつの手口になってしまったということですね、本当に許せないことだと思います。」

ナレ「政治家の名前を宣伝に使っていた山口元会長。その話に引き込まれたという被害者にも話を聞くことができた。」

"記者「全部つけていらっしゃる？」

被害者「そう。全部つけています。」 "

ナレ「今もジャパンライフの健康グッズを身に着けている75歳の男性。」

"男性「これがチョッキと、手前、ここまで来るのと2種類あるんですよ。」

膳場「首に巻いてあるこれ、ネックレス？」

男性「これも磁気ネックレスといっで、これで肩こりが完璧に取れます。」 "

男性「血流が良くなるから、磁石の力で。」

ナレ「夫婦で、ジャパンライフに出資した額は、合わせて、1億3600万円に上るといっで。男性が出資したきっかけの一つが、ジャパンライフが開催するイベントで見たこのビラだ。」

ビラ「1月13日金曜日、安倍内閣の重要閣僚の加藤大臣と、山口会長が、会食し、ジャパンライフの取り組みを非常に高く評価していただきました。」

ナレ「当時、一億総活躍担当大臣だった加藤勝信氏が、山口元会長と会食したとする内容。ジャパンライフが出資金を募るために開催したイベントでみせられたといっで。」

男性「加藤勝信は出たね。スライドで。この人はしょっちゅう活用された人」

膳場「どういう話を？してましたか？」

男性「だから、この人将来は総理大臣までは言わないけれども、将来の私の後をやっていくような人だからって。私はこの人のことを知っているし、こうだよと。私も勝信さんは知っているから。と。あの人も食事会に来てるんだなって思っで。もうすごいなって。」

ナレ「この件を質問された加藤氏は、元会長とは勉強会の席であいさつした。としたうえで、こう答弁した。」

加藤勝信氏「このジャパンライフ社に、こうしたこと全くわたくしども招致をしていない形で掲載されているこ

と。そしてその背景について抗議を申し込んでいると。いうことでございます。」

ナレ「山口元会長は政治家と親しいので、信用できる会社だ。男性はこう考えたという。」

男性「経済の話。政治の話。政治家が今どういうふうにして動いているか、そういう話ぼろぼろとしゃべるんですよ。経団連とか、そういったところがどうやって動きをしていて、今、何をしようとしているのかと、自由民主党の議員の人たちが、陰でどういうだけのことをやっているのか。裏話もみんな聞けるんですよ。当時はこういう人がつながっているし、この会社は安泰なんだなと、と、そう思ったわけですよ。」

ナレ「一方、今回の桜を見る会の招待状を巡る疑惑について、被害弁護団団長の杉浦さんは、こう語る。」

杉浦弁護団団長「やっぱりほかの政治家に比べると、圧倒的にインパクトの強い、信用力を発信させる、あの強い力を持っていると思います。他の政治家の名前も出てますけれども、やっぱり安倍総理という知名度つつうのは、他を抜き出して、圧倒的に強いものだと思ってますけれど。」

ナレ「ジャパンライフの山口元会長に、この招待状が、届けられたのかどうか、政府は事実関係を解明しなければならぬと、杉浦氏ははなす」

杉浦氏「日本の、政府のやることですから、非常にその緻密な、あの選考基準があったと思います。それがあったにも関わらず、なぜ山口という人が、そこにはいつてきたかと、いうこと、はやっぱり解明されなければいけないと思います。」

ナレ「しかし、記名に受けた動きは、」

菅官房長官「繰り返しになりますけれども、桜を見る会の招待者については、招待されたかどうかも含めて、個人に関する情報であり、出席者名を答えることは、控えたい

ナレ「巨額の被害を出したジャパンライフの対応をしてきた消費者庁は、招待状を巡る問題の解明を求めないのか。私たちは昨日、担当大臣に記者会見で聞いた。」

金平「総理と、その招待状というのが非常に有力な広告として使われていたと。消費者保護の観点から、看過できないような問題だというふうに思いますが、」

衛藤氏「いちおうまあ文書を見るとですね、それが事実であるとするならば、大変考えられない。遺憾であるそれを信用したという人もおられたようでございましたけれども、私の方はそれを確認していませんので、なんとか言いようがございませんけれども、ふつうですね、私は個人的に言えばですね、まず私は誰と誰と会いましたよーっていう名刺出すような方とかね、それから、こんな人と会いましたよと。よかったってというのは、何か、ね、ちょっとおかしいところあるか。私としては最初からそういう方はむしろ要注意だなと思って、普段から接しています。」

金平「なぜそういうことが起きたかという所をですね、消費者相として、事実関係をもっと具体的にこうしらべていくとかですね、そういうようなお考えとかですね、ないんですか。」

衛藤氏「おそらくですね、そういういろいろな方々のご招待ですが、これは、まあ、あのう、私も出席させていただいてましたけれども、1万何千人ですか、いちいちおそらく、全部の調査がですね、できるのかっていうのは、分からない。これで出るならね、ペットボトルに入ったお茶とか、ジュースと、で、それになんかコップが付いてるそれから食べ物も2種類ぐらいしかないから、お菓子は種類とかですね、そんな具合で出ててですね、私たちほとんど口に入っていないんで、でそういう状況の中ですからね、そこまでの調査我々には、決定権もあるわけでもございませんですからね、調査ができることはありません。」

特集のVTRをうけて以下に朱記したやり取りが取り上げられた。

膳場「えー高齢者の健康不安に、つけこむマルチ商法の手口、被害者が本当に気の毒ですし、悪質さには本当に憤りしか感じません。桜を見る会の招待状は、えーそれを使ったピラは、そのジャパンライフにとって格好の宣

伝材料となっていたわけですね。で、ビラにある招待状には、番号まで記されていますから、もし本物であるならば、ジャパンライフ会長を、誰が招待して、なぜ招待にふさわしいと、判断したのか、政府は事実を解明して、国民として被害者に説明しなければならない。そう思いましたね。」

金平「私の一衛藤大臣に会見で聞いたんですけどね、まあ正直呆れたっていうですかね、消費者を保護するという意識が全く感じられませんでしたね。え一衛藤大臣の言い方で言えばですね、なぜあのような人物が紛れ込んでしまったのかとか、なぜかという調査をするのか役所としての責務だと思うんですね。調査ができることはありませんというのはいくら何でもひどいと思いますね。」

日下部「あの今国会の会期末12月9日ですよ、与党は延長する気ないようですけども、年を越せば乗り切れるかと、税金を使って開催した会議ですね、反社会勢力やマルチ商法のトップが、招かれていた疑惑。これが些細なことなんでしょうか。私たちが済む国がですね、そんなけじめもつけられないような国なんでしょうか。問われているのは、私たち国民でもあると思いますね。」

この特集に当てられた時間は1233秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特に問題なし

検証者所感

・【特集】桜を見る会～マルチ商法が利用？

記者会見での衛藤消費者相の「いちおうまあ文書を見るとですね、それが事実であるとするならば、大変考えられない。遺憾であるそれを信用したという人もおられたようでございましたけれども、私の方はそれを確認していませんので、なんとか言いようがございませんけれども、ふつうですね、私は個人的に言えばですね、まず私は誰と誰と会いましたよーっていう名刺出すような方とかね、それから、こんな人と会いましたよと。よかったっていうのは、何か、ね、ちょっとおかしいところあるか。私としては最初からそういう方はむしろ要注意だなと思って、普段から接しています。」というコメントが印象的だった。検証者である私自身も政治家との関係を自らことさらに強調してくるような人に対しては、第一印象では信用をするというよりはむしろ警戒をするようなタイプであるから、政治家の名前を出されたから信用したという高齢者の感覚はにわかには信じがたいものだった。むしろ、足りない信用を政治家の名前で補おうとするのはある種のゴロの常套手段ではなかろうか。しかし、それは良くも悪くも昔に比べたら政治がクリーンになった証拠なのかもしれないと思う。

ところで、今回の桜を見る会では税金の使いみちという点で非常に厳しく取り上げられているが、税金を使いながらもその基準が一般の国民からはわかりにくいというものは桜の会の他にもあるはずであるが、そうしたものについてはやはり同様の厳格さで取り上げてくれるのだろうか。それともこの番組は金平さんの気に入らないものは厳しく取り上げ、金平さんのお気に召すものにはお目溢しをするというような取り上げ方をするのだろうか、ここも見どころであろう。